



浜松市博物館情報



Hamamatsu City History Museum News

2026.8.15

No.375

植物繊維と紡錘

つむ



細かく裂いた苧の繊維

糸に使用する繊維には様々なものがあります。現在、博物館で開催中のテーマ展「糸を紡ぐ布を織る」では、主に天然繊維で織られた布について紹介しています。

天然繊維には、麻（大麻）や苧（苧麻）、藤、綿などの植物繊維と蚕の繭などからとれる動物繊維があります。綿が普及する以前は麻や苧、藤といった手に入れやすい素材を使用して布を織っていました。

麻と苧は茎の皮からとれる草皮繊維、藤は蔓からとれる樹皮繊維を使います。草皮繊維や樹皮繊維は皮をはがした後に、苧は水に浸し、藤は灰汁で煮炊きをします。その後、洗って乾かす等の工程を経て、繊維を細かく裂き、撚り合わせて繋いでいきます。これを「績む」といいます。それに対



下滝遺跡 (奈良・平安時代) 伊場遺跡 (古墳時代) 山の花遺跡 (古墳時代) 伊場遺跡 (弥生時代)



民俗資料 紡錘



糸車の使用（浜松市水産民俗資料館蔵）

し、綿は実が開くとあらわれる綿花の繊維を使います。綿花から種子を取り除いた後、綿打ちで綿の繊維をほぐし、端から引き出しながら撚りをかけて糸にします。これを「紡ぐ」といいます。草皮繊維や樹皮繊維と比べて簡単に糸にすることができ

ます。

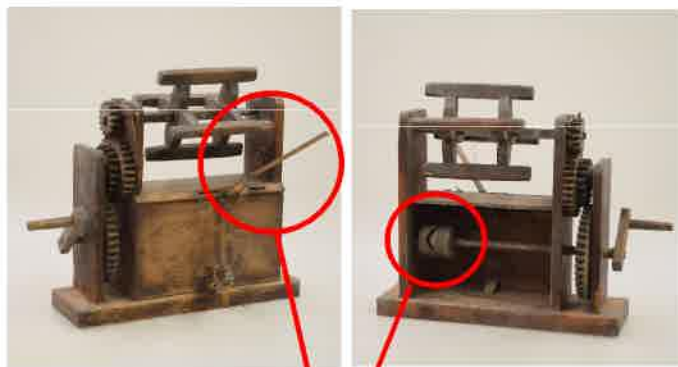
糸車は車と紡錘にひもを渡したもので、車を回すと紡錘が高速に回転します。繊維を撚り、紡錘に巻き取るまでを右手で車を回しながら、左手で糸を動かして行います。

綿の栽培が普及するのは、江戸時代の中頃からです。麻や苧、藤などの繊維は強くて硬かったのに対し、綿は肌触りが良く柔らかいため、それまで使用されていた衣服の素材にかわり、綿が使われるようになっていきました。

織物を撚り、糸にする道具に紡錘や糸車があります。江戸時代に糸車が普及するまでは紡錘が使用されていました。紡錘は軸の先端についている鉤に繊維をひっかけ、紡輪を回転させて撚りをかけます。糸になった繊維は軸に巻き取ります。浜松市域の

【博物館所蔵資料の紹介】

ざぐ 座繰り



腕木が駒の溝に沿って動く

座繰りは蚕の繭から生糸を引き出して巻き取る道具です。繭から糸を取る方法は 2 つあります。ひとつは繭を煮て引き出した複数の糸を束ね 1 本の糸（生糸）にします。もうひとつは繭を煮て水ですすぎ、手で広げて綿状にしたものから指先で繊維を引き出し、撚りをかけて糸にします。座繰りは前者に使用する道具です。繭煮鍋で煮た繭を籠の穂先を束ねたほうきなどでかき回して糸口を引き出し、1 本にした糸を座繰りの糸枠に巻き取っていきます。繭の繊維は 1 個あたり約 1,200m～1,500mあり、糸が切れたり終わったりする時は、その糸に新たな繭の糸口をつけないでいきます。

写真資料は腕木が外れてしまっていますが、本来は、糸を通した腕木が軸木についた駒の波状の溝に入り、ハンドルを回すと溝に沿って腕木が左右に動いて生糸が糸枠全体に均一に巻き取られる仕組みになっています。座繰りは片手で生糸を操作し、もう一方の手で座繰りのハンドルを回していました。明治期になり足踏み式の座繰りが登場すると、腰をかけて足踏み板を踏むことで糸が巻き取られるようになりました。これにより、両手で作業をすることができるようになり、作業の効率が向上しました。

催し物のご案内

★テーマ展「糸を紡ぐ 布を織る」

8月1日（土）～10月4日（日）

糸づくりの道具や機織りの道具とそれに関連する資料を紹介します。

【関連事業】

- ・ギャラリートーク

9月23日（土）10：00～10：30

- ・はまはく講座「糸を紡ぐ道具と布を織る道具」

9月5日（土）10：00～11：00（要申込）

講師：鈴木奈々（浜松市博物館）

★コーナー展示「ありがとう陳列館」

8月1日（土）～10月4日（日）

【関連事業】

- ・旧浜松市立郷土博物館蛸塚分館を巡る

9月19日（土）10：00～11：30

13：00～14：30（要申込）

案内人：鈴木一有、鈴木京太郎（浜松市博物館）

※20日（日）10：00～12：00、13：00～15：00

見学のみ（申込不要）

★常設展映像コーナー「遠州大念仏」

8月1日（土）～8月30日（日）

★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

9月12日（土）、10月10日（土）

14：00～14：30 会場：旧高山家住宅

★講演会「史跡がつなぐ日本の未来」

9月26日（土）13：00～15：30（要申込）

講師：中井将胤氏（文化庁主任文化財調査官）

★コーナー展示「私たちのテレビ史」

10月6日（火）～11月3日（火）

【関連事業】

- ・講演会「テレビは誰のものか」

10月10日（土）10：00～12：00（要申込）

講師：丸山友美氏（静岡大学准教授）

★歴史体感ウォーキング

「絵はがきを持ってまちを歩こう」

10月10日（土）13：30～15：00（要申込）

案内人：橋本充悠（浜松市博物館）

左からホームページ、X（旧ツイッター）、Instagram、Facebook



※各事業の詳細は、HPやSNSでご確認ください。
※イベントは、変更、中止になる場合があります。

浜松市博物館 開館時間：9時～17時

8月～10月の休館日： 8/3,10,17,24,26,31 9/7,14, 24,28 10/5,13,19,,26,28

〒432-8018 浜松市中央区蛸塚四丁目 22 番 1 号 電話：053-456-2208 FAX：053-456-2275

Eメール：hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp HP：https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/